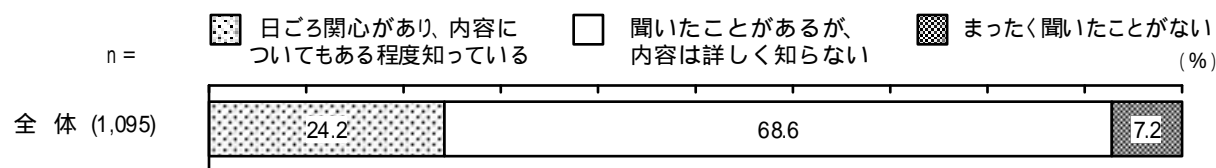


## 5 介護保険について

### (1) 介護保険制度の認知度

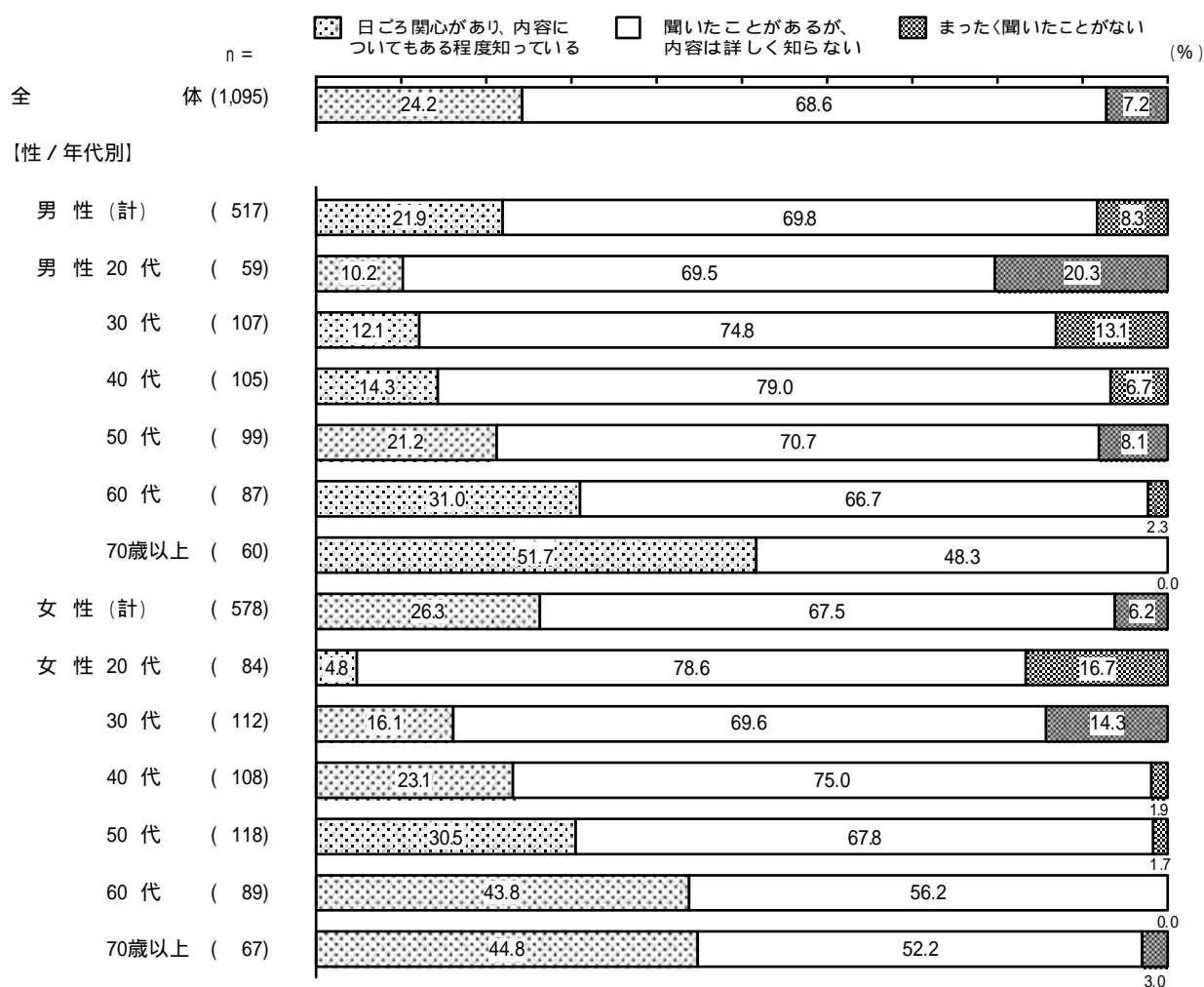
問7 (すべての方に) あなたは「介護保険制度」を知っていますか。( は1つ)

#### 【介護保険制度の認知度(全体)】



- ・全体でみると、「日ごろ関心があり、内容についてもある程度知っている」(24.2%)が2割半ば、「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」(68.6%)が7割近くとなっており、「まったく聞いたことがない」(7.2%)は1割に満たない。

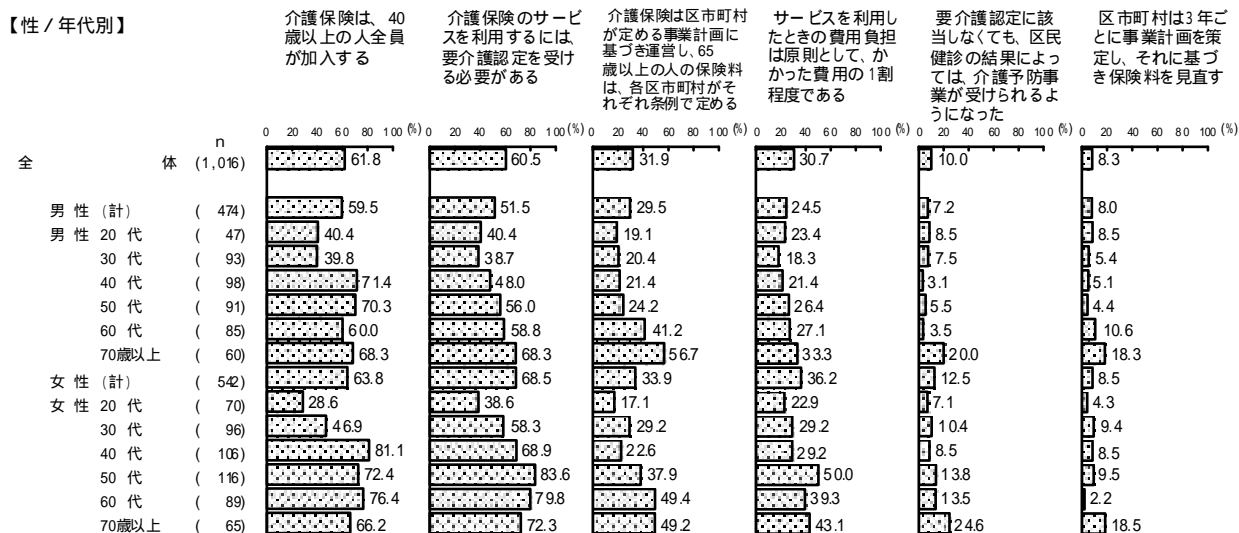
#### 【介護保険制度の認知度(性/年代別)】



- ・性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。
- ・性/年代別にみると、「日ごろ関心があり、内容についてもある程度知っている」では男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性70歳以上で5割を超え、女性60代以上では4割を超え高くなっている。「まったく聞いたことがない」では男女ともに20代と30代で他の年代と比べて高く、男性20代では2割となっている。



## 【介護保険制度の内容認知（性／年代別）】

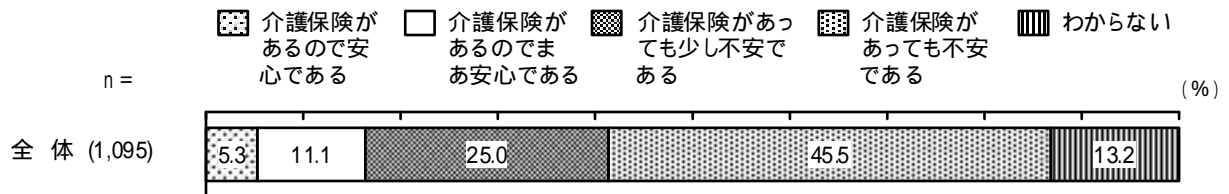


- ・性別にみると、「介護保険のサービスを利用するには、要介護認定を受ける必要がある」では女性が男性より17.0ポイント高く、「サービスを利用したときの費用負担は原則として、かかった費用の1割程度である」では女性が男性より11.7ポイント高くなっている。
- ・性／年代別でみると、「介護保険は、40歳以上の人全員が加入する」では女性の40代から60代で特に高く、女性40代では8割を超え、女性50代では7割半ば、女性60代では7割を超えている。「介護保険のサービスを利用するには、要介護認定を受ける必要がある」では女性50代が8割を超え、女性60代が8割と特に高く、男性では高い年代ほど割合が高い傾向にある。「介護保険は区市町村が定める事業計画に基づき運営し、65歳以上の人（第1号被保険者）の保険料は、各区市町村がそれぞれ条例で定める」では男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性70歳以上で6割近く、女性60代以上でほぼ5割となっている。

(3) 介護保険があることによる安心感

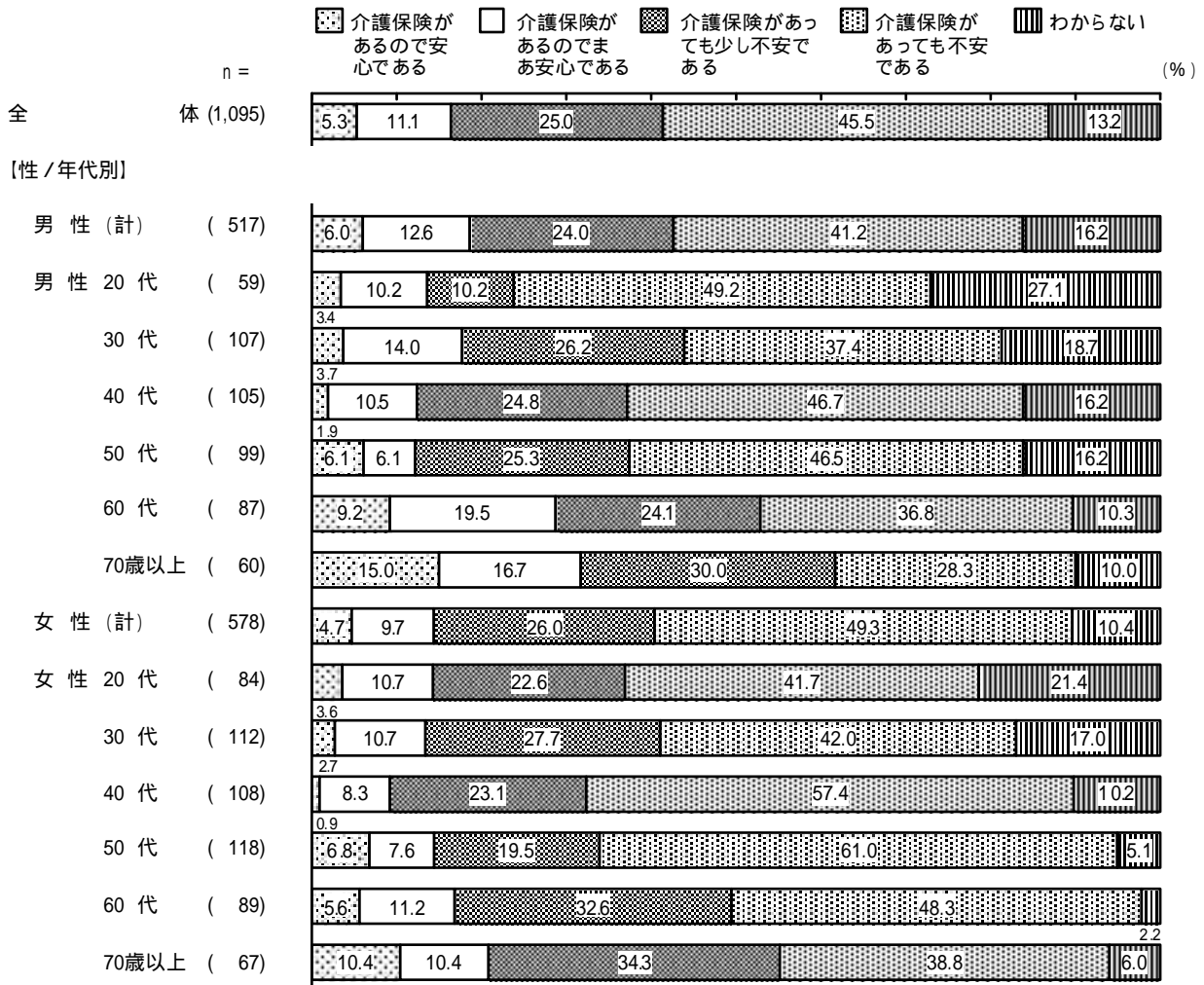
問8 (すべての方に)あなたが高齢期を迎えたとき、あるいは現在、介護保険制度があることはあなたにとって安心ですか。(は1つ)

【介護保険があることによる安心感(全体)】



- ・全体でみると、「介護保険があるので安心である」と「介護保険があるのでまあ安心である」を合わせた『安心』(16.3%)が1割半ばとなっている。一方、「介護保険があっても多少不安である」と「介護保険があっても不安である」を合わせた『不安』(70.5%)はほぼ7割となっている。

【介護保険があることによる安心感(性/年代別)】

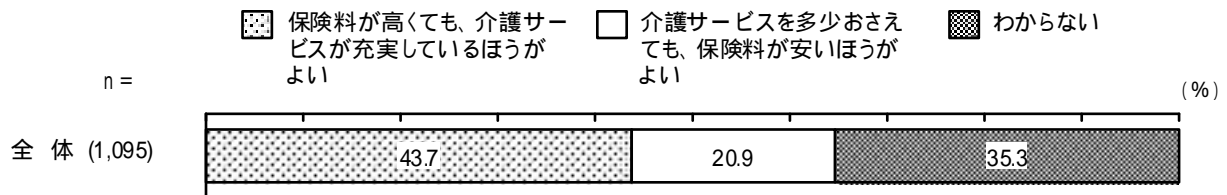


- ・性別にみると、「介護保険があっても不安である」では女性が男性より8.1ポイント高くなっている。
- ・性/年代別にみると、「介護保険があるので安心である」では男性70歳以上が1割半ば、「介護保険があるのでまあ安心である」では男性60代が2割と他の年代と比べて高くなっている。また、「介護保険があっても不安である」では女性の40代と50代で6割前後と高くなっている。

(4) サービスの水準と保険料の関係についての考え方

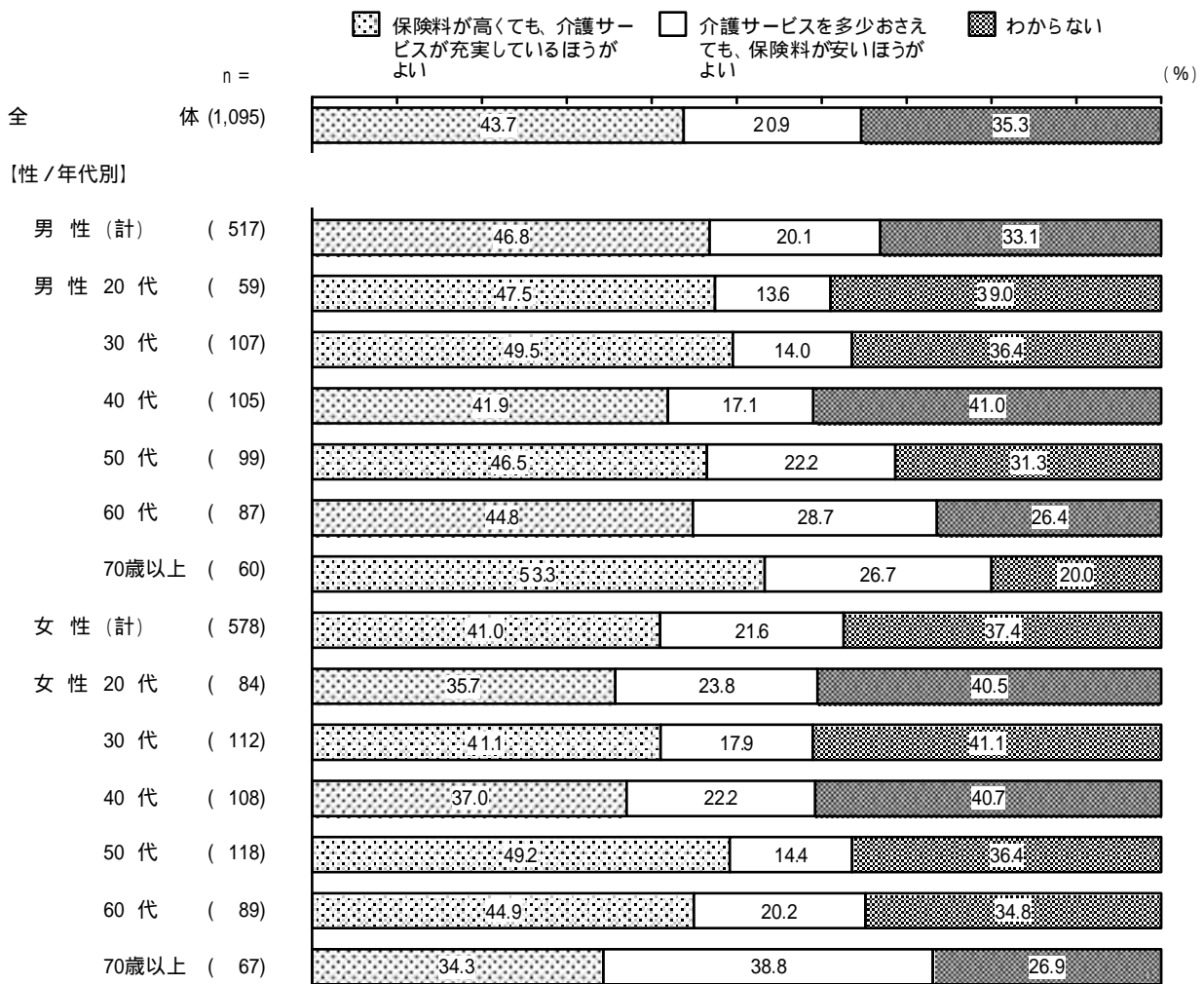
問9 (すべての方に) 65歳以上の方(第1号被保険者)の、品川区における平成18~20年度の介護保険料(基準額)は、月額3,900円です(東京都の平均4,102円、23区では月額3,650~4,633円)。介護保険料について、あなたの意見に近いのはどれでしょうか。(は1つ)

【サービスの水準と保険料の関係についての考え方(全体)】



・全体でみると、「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」(43.7%)が4割を超えている。一方、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」(20.9%)はほぼ2割となっている。

【サービスの水準と保険料の関係についての考え方(性/年代別)】



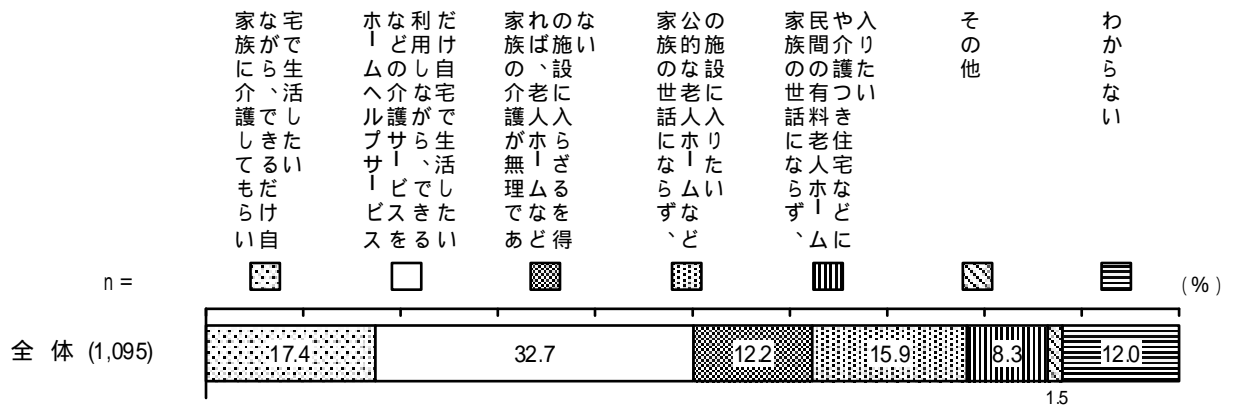
・性別でみると、「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」では、男性が女性より5.8ポイント高くなっている。

・性/年代別でみると、「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」では、男性70歳以上で5割を超え、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」では女性70歳以上で4割近くと他の年代より高くなっている。また、「わからない」では女性で低い年代ほど割合が高い傾向にある。

(5) 老後に希望する介護の形態

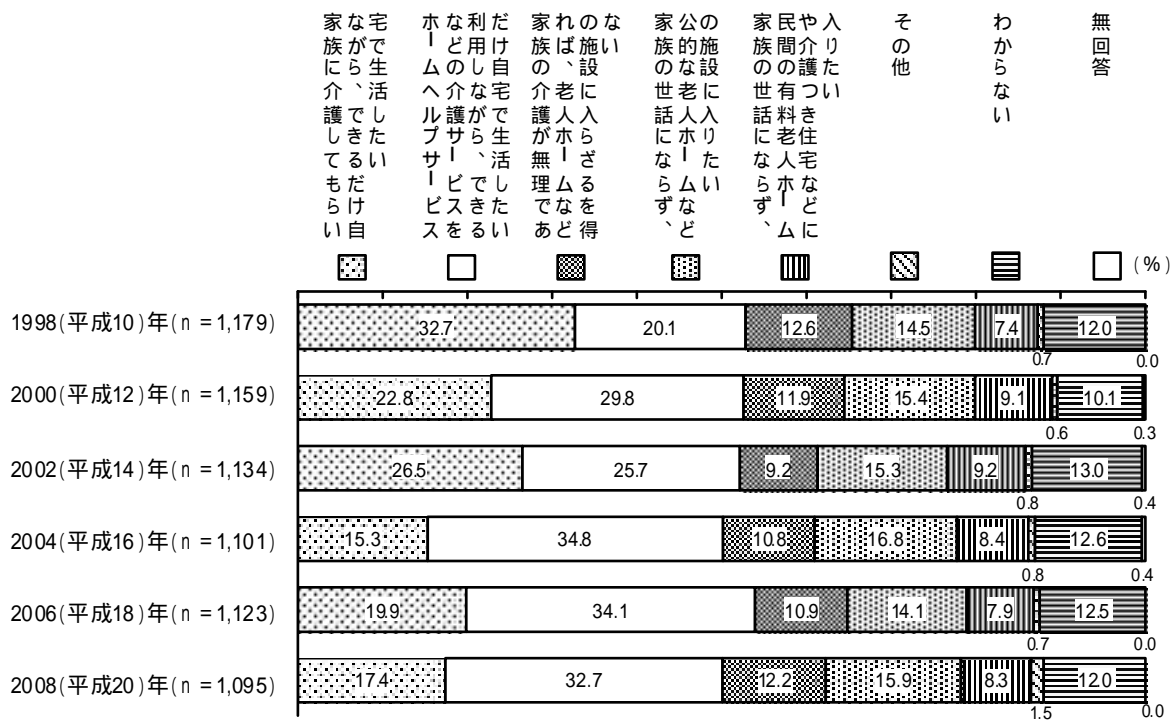
問 10 (すべての方に) あなたは高齢で介護が必要になったとき、どのような介護を望みますか。  
( は1つ)

【老後に希望する介護の形態 (全体)】



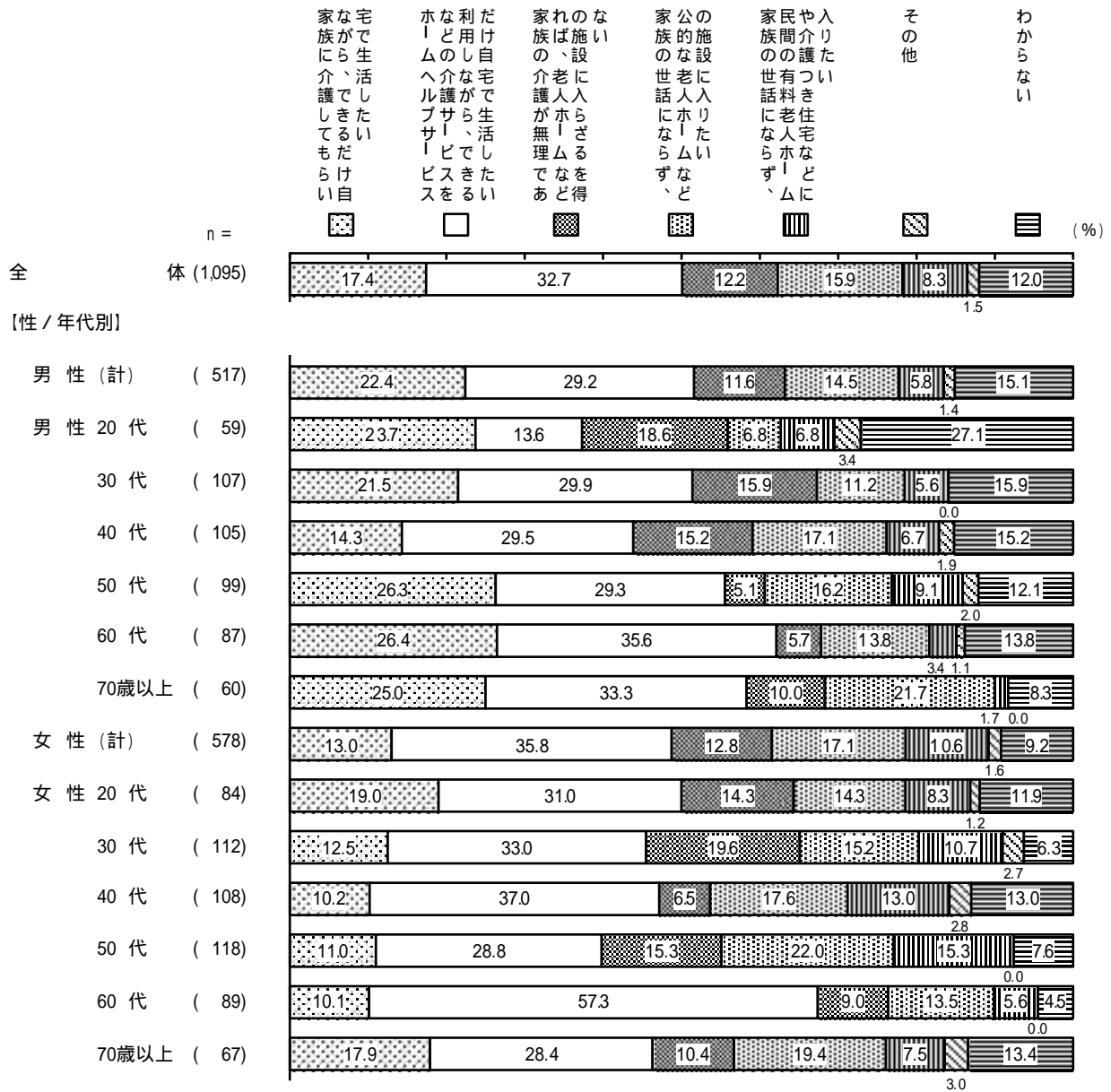
・全体で見ると、「家族に介護してもらいながら、できるだけ自宅で生活したい」(17.4%)と「ホームヘルプサービスなどの介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で生活したい」(32.7%)、「家族の介護が無理であれば、老人ホームなどの施設に入らざるを得ない」(12.2%)を合わせると、できれば自宅で生活したいと思っている人が62.4%を占めている。

【老後に希望する介護の形態 (時系列)】



・老後に希望する介護の形態の推移をみると、「家族に介護してもらいながら、できるだけ自宅で生活したい」は減少傾向にあるが、「ホームヘルプサービスなどの介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で生活したい」は増加傾向にあり、2つを合わせた『自宅で生活したい』は1998(平成10)年以降5割を超えている。

【老後に希望する介護の形態（性／年代別）】



- ・性別にみると、「家族に介護してもらいながら、できるだけ自宅で生活したい」では男性が女性より9.4ポイント高くなっている。
- ・性／年代別にみると、「ホームヘルプサービスなどの介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で生活したい」では女性60代で6割近くと特に高くなっている。また、「わからない」は男性20代で3割近くと他の年代と比べて高くなっている。